

藍沢南城先生の紙芝居の上演と検校さまの講演会を終えて

南・北小学校三年生三十二人が総合学習の一環として「北条を知ろう」をテーマに取り組んだ、藍沢南城先生の紙芝居「三余堂物語」が二月十九日、コミュニティ和室で上演されました。

昨年九月に長岡在住の水野隆雄先生から南城先生のお話をお聞きし、その後もつと南城先生の理解を深めようと紙芝居に取り組んだものです。南条の関正男さんからは描画指導のほか、素晴らしい梓まで作っていただきました。

当日は両小学校の児童や保護者、地区民(約百六十人)で超満員の盛況でした。賞賛の拍手は子供たちに自信と喜びを与え、感性を磨くよい機会になったので



がんばった 紙芝居づくり

南小三年 星野美佐子

わたしは、水野先生から藍沢南城先生の話聞いて、夜もねないで勉強したりしてすごいなあ」と思いました。

紙しばいにして発表した時は、すごくいっぱい人がいてはるかしかつたけど、大きな声で発表できてよかったです。

北小三年 丸山 浩平

南城先生の紙しばいを作りました。聞いただけでは分かりにくかつたけれど、絵をいれたら分かりやすくなりました。色をぬるのは大へんでした。けれどかんせいしたと時はうれしかったです。

南城先生についてよく分かってよかったです。発表会もがんばりました。

米山 検校講演会

紙芝居終了後、「目明きを救った盲人・米山検校」の著者福原滋先生の講演会が開催されました。

失明という障害を乗り越え、検校という最高地位に就き、宝暦の大飢きに救済米購入の資金援助をしてくださった検校さまのご威徳を、子供たちが理解できるようにお話してくださいました。祖先が受けたご恩に感謝しながらの講演会でした。

「城山ヤンチャクレーズ」会員募集!

十五夜祭りを楽しもうと昨年7月に誕生した会で、内容は鳴子を打ち鳴らしながら踊る楽しい会です。今年も4月から活動を開始します。よい汗流したい方、ぜひご入会ください。

活動日/第2・第4金曜日 北条農協2階
時間/19:30~20:30
会費/1,000円(月)
申込み/入沢理容店 25-3764

「ぬくもりの家」
一年を振り返って
運営協議会長 藤田克子

十四年四月、利用者四十二名ぬくもりの家は本年度のスタートを切る。お花見を皮切りに季節毎の行事が沢山ありました。六月笹団子作り、七月七夕祭り、十二月クリスマス、二月豆まき等々、そして十月二十二日、ぬくもりの家五周年記念の会を開催、開所から足跡をスライド、ビデオで振り返り、意義ある会を楽しみました。

こうして今年も、ぬくもりの家は皆様の温かさにも包まれ歩んできました。運営拠出金のご協力、地域の皆さまの友愛訪問、市保健師さんによる利用者の健康相談、館をお貸しいただいている小島、旧広田町内のご厚意等々。来年度は、山岸先生のお手でリニューアルした看板のもと、委員の力をますます結集し、ぬくもりの家を、地域で楽しくいきいきと暮らしたいと願うお年寄りのため、さらに充実した施設にしたいと願っております。

自立にむけての若者たち
新潟青少年
自立支援センター所長
若月 正勝

自立支援活動を開始して一年が過ぎました。現在入所している者十名、通いの者六名が自立に向けた活動をしています。

今までにここを巣立って行った者三名、センターから外の会社に通っている者二名、大検に合格した者二名、自動車免許を取った者一名、平均すれば五年余りもの間社会との関わりを絶っていた彼らを一年や一年半で社会に送り出すことはそう簡単な事ではありません。しかし、彼らに残された時間的余裕はそうたくさんありません。一度外で働いてみただけで、だめで戻って来る子もいます。でもここに来ればかりのころに比べれば、肉体的にも精神的にもたくましくなっています。一度や二度の失敗ではへこたれなくなっています。

皆さまの温かい応援も彼らにとっては大きな励みです。